

地域再生可能エネルギー・木質バイオマス(被災地復興から地域再生)

2011.8.25
BIN副理事長
岡田久典

被災地の状況とバイオマス導入

- 行政機能、主体生成機能の喪失
- 雇用・生業の喪失 生業・雇用の創出
- 個別案件や実証・実験への対応は無理(優先案件が多すぎる)
- 合意形成、主体生成
- 地域復興組織(旧市町村レベル?)とのニーズに即した面的連携が必須

全量買い取り法案とバイオマス

- 具体的な手法はまだこれから
- コスト設定、補助金の有無、熱の利用
- 高コスト下方硬直性
- 事業成立条件の見極め(規模、需要、キャッシュフロー)
- 接続条件(不安定)
- ハイブリッド、熱主+電従(熱利用の分散性)
- 適正技術の見極め

緑の分権改革(総務省)

- 需要に即した資源量の算定と事業規模の見極め
- 地域主体の生成(需要の創出、人材の創出)
- 補助金コンプライアンス、地域ファイナンスの耐える事業性の確保
- 再生可能エネルギー等地域資源(地域マネー含む)の総合利用
- 本年 釜石市、大崎市等で実施予定

再生可能エネルギー地域計画

- コミュニティグリッド 分散電源、デュアルシステムを活用
- 太陽光 工場団地用地、耕作放棄地再生起業ビジネスとの連携
- 風力 被災地、大規模グリッドへの接続
- 中小水力 土地改良区、農業用水などとの連携 環境水利権?
- バイオマス 熱主+電従 熱エネルギーの分散性への対応
- 設備、メンテナンス体制 地域エネルギー事業者との連携

人材育成が必須

- 地域のエネルギー戦略(大規模需要からコミュニティ需要まで)から、旧市町村・集落単位の再生可能エネルギー利用計画
- 地域の戦略産業、雇用創出との連携
- 分散電源(EV等含む)、地域エネルギー事業者との連携手法
- キャッシュフローなど事業計画、事業主体計画、適性技術計画・評価が可能な人材
- プロボノ、セミリタイア、若年層起業

失敗分析とインターンシップ

- 失敗例分析 バイオマス、風力、小水力等
- まず、論外の失敗を防止する(社会や経済界からの不信感が致命的)
- 適性技術、適性社会実験
- 実験・実証・事業の混同
- 地域の事情と消費サイド、行政などでのインターンシップ

お知らせ

早稲田大学とブリヂストンの連携事業
W-BRIDGE成果報告会
来週 日程発表
www.w-bridge@list.waseda.jp

ありがとうございました。